

2013年五地域ねじ協会交流大会のご挨拶

一般社団法人日本ねじ工業協会
会長 竹中 弘忠

2008年10月28日に杭州で開催された大会以来、5年ぶりに中国での大会を迎えました。昨年東京で皆様とお目にかかり、今日上海で再会できたことに大変嬉しい気持ちでいっぱいです。中国機械通用零部件工業協会また緊固件分会の皆様におかれましては、ご多忙のところ大会開催準備にご尽力されたことに心より感謝申し上げます。

さて、わが国では昨年末政権交代があり、野党党首が2度目となる総理大臣に就任し、矢継ぎ早に経済対策を行い、円安に戻し始め、株価もリーマンショック前のレベルに近くなり、景気は持ち直しつつあるとの見方をされています。日本の自動車産業も円安の影響により海外で増産の計画を示しており、輸出産業も好調に推移しているようです。

しかしながら、依然として苦戦をしいられている需要業界も多数あるのが現状です。

日本銀行の調査では製造業を中心とする日本の大企業では、業況が良くなっているとのことですが、中小企業ではまだその恩恵に預かっていない状況が続いています。

政府としても中小企業の業績回復の手助けを行うべく、各種施策により補助金を投入するなどの対策を講じていただいておりますが、なかなか明るい展望が見えず、日本国内のねじ生産量は若干回復の兆しはあるものの、残念ながら今回の大会においても日本のねじ産業はまだ良い状況にはなっていないとご報告せざるを得ません。

いまだ世界的にも経済は回復基調にあるとは言えませんが、同じねじ製品に携わる仲間としてこの交流大会という場を利用し、いかにして業界の活性化に繋ぐことができるか等の貴重なご意見を皆様より拝聴し、来年こそは五地域全ての協会で明るいご報告ができるようになればいいなと考えております。

最後になりましたが、本日ご参加された各地域協会の皆様と所属会員企業の皆様の益々のご発展とご繁栄を祈念して私のご挨拶とさせていただきます。

(2013年6月19日)